

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名		太陽の村 そとあそび二本松		公表日		2025年 4月 11日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		2階建ての一軒家で1階をスペースを利用しているため、定員に対して十分なスペースが確保できている点。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基準数の配置を行っている		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		安全上、室内の壁を外して見通しを良くしている。	一軒家の為、玄関からの通路が広くない点。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		活動に支障が出るような配置が無いよう整理整頓を実施している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		目的ごとのスペースとしてエリア分けしている点。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎月所長会議で法人全体、職員会議で事業所内の振り返りを行っている		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年保護者向け評価票の提出をお願いし結果を公表している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		月1回の職員会議で意見を収集している。他に日常的に気付いたことは発言も出来る雰囲気づくりをしている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			客観的な視点の第三者評価も必要と考えている	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人内権利擁護、拘束ゼロ、感染症対策研修 事業所内毎月事例検討実施 社外研修適宜受講		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		都度公表している		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		原案、本案の記録を確実に実施		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		作成都度事業者内職員全員で		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		新規、変更時事業所内で共有を行っている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		弊所の利用児童に特化したインフォーマルなアセスに基づいた記録を行っている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		5領域すべてを支援内容に反映させて外活動を行っており、個別でも具体的に実施している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		全員参加で計画している		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		イベントや季節感を感じられるプログラムを設定している		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		集団を基本とし特性、その日の様子等から個別が必要な場合は個別での対応を行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日のMTで支援内容のすり合わせを実施している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終業後日誌の記入時に振り返りを行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎日支援終了後日誌への記録を実施している 他連携記録等も極力その日中に記録を行うよう努めている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		児発管を筆頭に職員間の共有を行い、見直しを行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援を行っているか。	○		4つの基本活動を組み合わせた月間活動スケジュールに従った支援を実施している	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		ルール作りや判断はまず、子ども主導で決めていくようにしている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児発管が業務として当然に参加している 更に専門的支援実施者が同席する場合もある	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		学校との情報共有は各校と毎月実施している 更にコア事業所となって他事業所との連携に努めている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校との情報共有は各校と毎月実施している 更に必要に応じて保護者、本人、学校、事業所での担当者会議を主体的に実施している	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		常に関係事業所、機関には保護者の了解のもと情報を求めている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		全て連携記録の提出、対面での情報共有会議を行っている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			今後の課題として研修にも参加できる取り組みを計画している
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		子どもセンターなどで活動する機会も設けている	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		市内の協議会には法人として多数参加している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		SNS等を通じて保護者とその都度情報のやり取りを行っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		月に1回サンサンカフェという名で保護者会を実施 成年後見基礎講座等を実施	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時、変更時など必要都度実施	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		SNS等のオンラインツールを駆使して児童や保護者の意向を確認する機会を設けている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		新規・更新都度同意を得ている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		状況に応じ、訪問時に直接相談の場を設けている	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		サンサンカフェ、TAC活動など親・兄弟も同時参加できるプログラムを定期的に提供している	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情相談窓口を児童・保護者に周知すると共に、別ルートからの苦情にも相談窓口が先頭に立ち対応するシステムとしている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		新聞発行（月1回）、メールやSNSで活動内容の前日案内を行っている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		社内ガイドラインを設け教育の徹底を図っている	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		SNS等のオンラインツールの活用で24時間受付は実施できている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		夏祭りを地域住民にも解放している	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルを完備し毎月訓練を子どもと共に実施している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを完備し訓練・見直しを定期的実施している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		契約時の確認事項としている 合わせて保護者に都度の連絡を依頼している	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		契約時にアレルギー有無の確認実施 対応は保護者の申告に合わせて実施	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		さまざまな想定にて安全に必要な訓練を実施している	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		保護者へは個別のマニュアルでの周知を行っている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		日々共有し、重大事案については職員会議にて事例検討対策を実施している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会が企画し毎年研修会を実施している 合わせて社外研修への参加も進めている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		支援計画に記載し、保護者へも新規・変更都度説明を実施している		